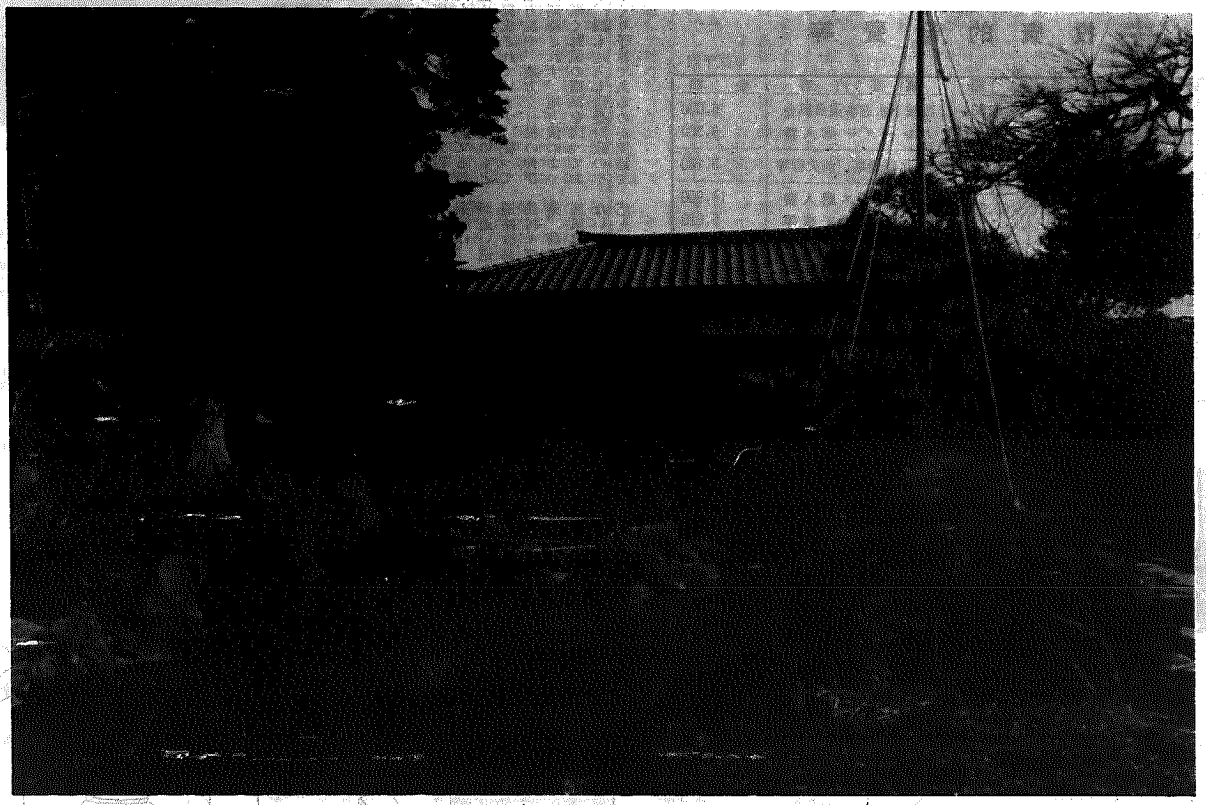
'76 4
No. 47
昭和51年4月1日発行
発行 横越村役場

広報 よこごし

おもな内容

1. 春季火災予防運動（1P）
2. 昭和51年度一般会計予算（2P）
3. 読書感想文（3P）
4. 海外研修視察記（3P）
5. 予防接種の実施方法変更（3P）
6. 51年度の社会教育計画きまる（4P）
7. 沢海地区蔬菜作りに本腰（4P）



幸せを明日につなぐ火の始末

――春季火災予防運動――

本年も四月一日から七日までの一週間、春季火災予防運動が実施されます。

昨年の暮から今年にかけて本村では、三件の火災が続発しており、一人が死亡し、延四三一平方㍍を焼失するといういたましい被害を出しています。

その原因を見てみますと、暖房器具の正しい扱いをしていないのが一番大きな原因です。暖房器具は、正しく慎重に使うことをあらためて認識しなければなりません。

又、昨年の県下における火災状況をみますと、出火件数一、〇八二件のうち八二三件が建物火災であり、その四六・一％にあたる三七九件が専用住宅、共同住宅から出火しています。火災による死者のうち六四％、十六人が住宅等の建物火災で犠牲になっています。出火原因も暖房器による事故が圧倒的に多くあげられています。

これから暖かくなると、ストーブ、コタツ等のつけ忘れが多くありますので、外出する時や寝る前は必らず火の点検をする習慣をつけることが大切です。

又、春はすべてのものが燃えやすく乾燥していますから春季火災予防運動を機会に、一層防火意識をあらたにし、火災の絶滅にご協力ください

◎火災予防 注意事項

◇たばこの投げすて放置、寝たばこ防止の徹底。
◇ガス器具の正しい扱い方の習熟。
◇お出かけ前、おやすみ前の火の元点検。
◇老人、子供、病人等の安全避難の確保。
◇たき火は風のあるときは絶対しない。（見張り、水を用意）
◇水バケツ、消火器具の常置と、消火方法の習得。

おそろしいプロパンガス事故

プロパンガスによるいたましい事故が多発しており、その九割までが一般家庭で起きています。幸い横越村内ではこれといった事故はありませんが、今後とも十分にプロパンガスのおそろしさや、ガスの性質、ガス器具の扱い方などを知っておき、事故を起さないよう次のことをご注意ください。

一、就寝前や外出の時は、必らず元栓をしめること。
二、地震や、地盤の不安定等のためボンベが倒れないよう、枠やチェーンなどで固定すること。
三、二年以上経過したゴムホースはとりかえること。
四、ガスのにおいがしたらすぐ戸をあけ放し、ガスを屋外に追いだし、業者に来てもらって原因を確めること。
五、ガス器具を初めて使うときは、説明書をよく読み、業者からもよく聞き正しくおぼえること。

横越村

皆さんのお宅にいらない昔からの民俗資料はありませんでしょうか。横越村は新築ブームでどんどん新しく改築されるお家がよけいになり、昔ながらのお宅がだんだん少なくなってきました。時勢の流れで止むを得ないと思うのですが、古いお家をこわされる時に昔から伝来されて今はもう使いものにならないというような道具は残っていないでしょうか。

今までも、そういう品々をわざわざ公民館まで持って来てくださった方々も多くありました。大変有難いことと深く感謝しておりました。然し今までは折角頂いてもおき場所がなかったために大きなものなどは屋外に放置しておくなど大変申訳ないことと思っております。

ところが、今度小学校が統合されて各小学校が地区分館として活動することになりましたので、どんなにたくさん頂いても置き場所には心配ありません。旧横越小学校の二教室を利用して収蔵したり展示室にしたりする予定であります。

民具は私どもの祖先から伝わってきた昔の生活を物語る貴重なものです。昔の人々が毎日の生活を少しでも楽にするために工夫し改善してつくられた生活用具です。炊事用の器具類、毎日着ていた衣服外出用、防寒用など、或は、農耕用の衣服をはじめ、使用された機具類、昔は馬、鍬など人の労力で行われました。馬、牛などを使った用具もあるでしょう。何百年用も生活に必要な用でした。ここで行われた作業の用具もたくさんあったでしょう。

是非この機会に横越村の民具を集収して、先人の生活を回顧できるようにしたいと思います。子ども達にもよい教材になるでしょう。